

ICTを活用した新型コロナウイルス感染防止対策と生産性の向上

特定非営利活動法人Cuore ricco
児童発達支援ぷらんた（児発・放デイ）

課題

- 十分なタブレットスペックが無く、三密を避けた親子療育の工夫が難しかった。また、予防や感染により長期間来所が難しい方への孤立を防ぐ継続的支援が難しかった。
- 十分なWi-Fi環境が無く、会議や研修、保護者勉強会等を円滑に行えなかった。
- 十分なPC台数が無く、諸記録・教材作成、配布等に待ち時間を要していた。また、保護者様への通知は紙媒体を使用し口頭説明を行っていたため、感染拡大の恐れがあった。

ICT機器 導入

PC 5台
タブレット1台
Wifi中継器 1器

成果

①業務の質の向上

- ・リモート親子別室療育や個に合わせた療育動画配信、電話相談等でより親子に寄り添った継続的支援を行えた。
- ・会議頻度や研修受講人数が増えた。また、保護者勉強会ではオンラインでも可能になり、結果的に利用児や保護者様にきめ細やかな支援を行えた。

②量的な効率化

- ・職員の事務作業を1日平均30分短縮できた。
- ・約25%のペーパーレス化を図ることができた。
- ・Zoom会議や、研修を事務所内で行うことができるようになり、移動時間なく情報収集ができるようになった。

業務効率化のステップ

- ①導入前の検討状況：職員と保護者様に現状の困りや不安がないか尋ね、都度、改善に向けた変更承諾を得た。
- ②導入内容：親子別室療育、療育動画配信、リモート会議・研修・保護者勉強会、配布資料・集金等の電子化。
- ③導入における問題点の洗い出し・それに伴う改善など：全職員がスムーズに活用できておらず、定着に時間がかかっていた。役割分担や有料ソフトを使用し誰でも活用しやすくなるよう改善を行った。

職員の声など

【良かった点】

- ・保護者様と密に近況報告（写真や動画含む）情報交換ができ、職員間でも共有がしやすくなった。
- ・会議や研修に参加しやすくなり移動時間もなく効率が上がった。
- ・ペーパーレス化で資源を大切にできることと、保管場所が空き他に有効活用できる。

【悪かった点】

- ・通信状況に予期せぬ事態が起きた時など、不慣れな職員には難しい。
- ・個人情報流出や誤送信にならないよう何十にも確認するため疲れる。

【今後の課題・その他】

- ・感染対策と業務効率化を兼ねた導入ではあるが、全職員・利用者様が一同に変更は難しく、二重の方法が存在している。スキルアップやソフト導入等を図り、さらなる効率化に努めたい。